

このリストは、図書館の職員が、5・6年生のみなさんに読んでほしい本を選んだものです。

品川図書館	北品川2-32-3	☎3471-4667
二葉図書館	二葉1-4-25	☎3782-2036
荏原図書館	中延1-9-15	☎3784-2557
南大井図書館	南大井3-7-13	☎3761-6780
源氏前図書館	中延4-14-17	☎3781-6273
ゆたか図書館	豊町1-17-7	☎3785-6677
大井図書館	大井5-19-14	☎3777-7151
五反田図書館	西五反田6-5-1	☎3492-2131
大崎図書館	大崎2-4-8	☎3495-0660
八潮図書館	八潮5-10-27	☎3799-1414

休館日、開館時間などは、各図書館におたずねください。

このリストの表紙絵使用は、各出版社の許諾を得ています。

2015.10発行

よんでみたいな！

5・6年生



「みんな知りたい！ドクターイエローのひみつ」

飯田 守 著

講談社

品川区立図書館

『ブルースマンと小学生』

こうだ ゆうこ 作 スカイ エマ 絵
学研教育出版



野球が大好きな鉄平は、仲間と野球をする毎日だった。しかし、空き地がなくなり野球ができなくなったことをきっかけに、鉄平の日常がくずれていく。

野球がしたいのにできない。やることもなく家でゴロゴロ。そんなときに公園で出会ったのがブルースマン。ブルースマンは鉄平に何を伝えるのか。

『本について授業をはじめます』

永江 朗 著
少年写真新聞社

世界でもっとも古い本がつけられたのは、いつごろか知っていますか？今から五千年以上も前です。そのころの本は、紙ではなく、土でできていました。

普段読んでいる本は、誰がどのようにつくっているのか、そしてどのようにみなさんのもとへ届くのか。本についての授業を受けてみませんか。



『ブルーとオレンジ』

福田 隆浩 著
講談社



小学5年生のブルーとオレンジのクラスでは、上下関係で問題を抱えていた。そんな中、二人は、平穩に無難に毎日を過ごせるよう努めていた。

そんな二人が、ある言葉をきっかけに、自分の武器を見つけ、クラスにひそむ問題に向きあっていく。

『サクラ・タイムトラベル』

加部 鈴子 作
岩崎書店

春休み、志保は、いとこの龍之介と歴史博物館を訪れる。ところが、見学中に火災が発生。館長さんの誘導で非常口に入ると、二人は江戸時代へタイムスリップしてしまう。

そこで、歴史に係わる、ある特命を引き受けた二人の運命は…？

純粋で温かい気持ちになれる一冊。



『クラゲの秘密 海に漂う不思議な生き物の正体』

三宅 裕志 著

誠文堂新光社



クラゲと聞くと、海でふわふわ泳いでいて刺されたら痛い、大量発生して漁業の邪魔をするなど、悪い生き物とおもっていませんか。

ところがクラゲは、ぬるぬるの粘液を出して海をきれいにしたり、食用になったりもします。そんな不思議なクラゲのことがわかる一冊です。

『ペンダーウィックの四姉妹 夏の魔法』

ジーン・バースオール 作 代田 亜香子 訳

小峰書店

ペンダーウィックの四姉妹は、夏休みの3週間、とあるコテージで過ごすことになりました。そこで出会ったのは、素敵な庭のある大きなお屋敷に住む最高の友達、庭師の男の子、それから…。

夏の魔法にかかった四姉妹の、きらきらした、とびきり素敵な夏休みの物語です。



『ゾウと旅した戦争の冬』

マイケル・モーパーゴ 作 杉田 七重 訳

徳間書店



カールと看護師の母は、介護施設にいるリジーから、ドイツの東部の町に住んでいた戦争中の話を聞いた。

リジーの父親は、戦闘員として戦争に、母親は動物園の飼育員をしていた。戦争中、危険な動物は殺されると聞き、母親が子ゾウを預かり家族で敵兵から逃げることに。

冬、ゾウを連れて旅した家族の物語。

『みんな知りたい！ドクターイエローのひみつ』

飯田 守 著

講談社

半世紀の間、たくさんの人を運んできた新幹線。その歴史を支えてきたのが、ドクター・イエローだ。

異常個所ではなく、異常が起こる前にその前触れを発見するという、ハイレベルな仕事ぶり。線路のゆがみや傾き、トロリ線のすり減り、どんなに小さな変化でもドクター・イエローは見逃さない！

そのひみつ、のぞいてみませんか？



『サマセット四姉妹の大冒険』

だいぼうけん

レズリー・M・M・ブルーム 作
尾高 薫 訳 中島 梨絵 絵
ほるぷ出版



コーネリアは読書の好きな内気な女の子。母親は有名なピアニストだが、いつも不在。

ある日、隣のアパートに小説家の老婦人ヴァージニアが越してきた。言葉をかかわしたコーネリアは、興味を持ち、家を訪ねる。そして、ヴァージニアが話す、三人の姉と世界を旅した若き日の冒険にすっかり引き込まれていく。

『いっしょにアムベ！』

高森 美由紀 作 ミロコ マチコ 絵
フレーベル館

小学2年生のとき、ある出来事をきっかけに、クラスで浮いた存在になったノボル。そんなノボルの家に有田がやってきた。震災で生活の全てが変わってしまった有田。性格も生まれ育った場所も全く違う二人だが、ともに歩いて行く。ひとりぼっちなんかじゃない。いっしょにアムベ！（行こう！）



『三千と一羽がうたう卵の歌』

ジョイ・カウリー 著 デヴィッド・エリオット 絵
杉田 七重 訳
さ・え・ら書房



ミラー家は、三千羽のニワトリを飼育する養鶏場。お母さんは、お腹の赤ちゃんを守るために入院中。

養鶏場では、ニワトリの卵の数が減っていることが問題に。息子のジョシュのペット メンドリのセモリナはジョシュにだけ人間の言葉を話す。ジョシュは、セモリナからキツネのしわざと聞かすが、誰も信じてくれません。

『トイレをつくる 未来をつくる』

会田 法行 写真・文
ポプラ社

東ティモールのマヌタシ村には、これまでトイレがありませんでした。川や地面で排泄すると、人々の飲む水が汚れたり、ハエがたかってしまいとても不衛生です。多くの子供たちが下痢、コレラ、赤痢で命をおとしていました。

この本は、トイレが未来をつくる大切なものだと教えてくれます。

